

# 米軍Xバンドレーダー基地撤去！ 韓国・沖縄に連帯する10・7京都集会

日時：2017年10月7日（土）13時～15時  
デモ出発 15時30分（京都市役所前まで）  
会場：東山いきいき市民活動センター  
集会室（二階）  
ゲスト：韓国のTHAAD反対運動から  
THAAD配備反対金泉対策委員会執行委員長  
パク・ヒジュさん（金泉市会議員）  
主催：米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会  
（協賛団体を募ります）  
参加費：資料代500円  
連絡先：602-8347 京都市上京区四番町121-5  
大湾 宗則方 電話&FAX 075-467-4437  
郵便振替口座：00950-9-303127  
名義 京都連絡会  
事務局連絡先：090-1590-9469（山本純）



## ● 朝鮮半島・東アジアの平和への転換点をつくりだそう！

米・トランプ政権は政権発足後、「あらゆる選択肢が机上にある」として朝鮮民主主義人民共和国（以下、朝鮮）への先制攻撃を否定してきませんでした。そして、朝鮮半島・東アジアでの巨大な米日韓合同軍事演習を繰り返してきました。これに対抗して朝鮮は、7月28日に米本土に到達するICBM（大陸間弾道ミサイル）の発射実験に成功し、搭載する核弾頭の開発を進めてきました。そして、米軍の西太平洋での拠点であるハワイ・グアムや在日米軍基地も攻撃対象だと公言してきました。

東アジアでの軍事的緊張は、きわめて高まっており、偶発的な戦争に至る危険性も高まっています。このような中で安倍政権は、トランプ政権とともに朝鮮への軍事的包囲と圧力の強化だけを

主張し、集団的自衛権行使の訓練として米韓合同軍事演習に実質的に参加してきました。

しかし、武力で平和はつくれません。いまこそ東アジアの民衆は国境をこえて手をつなぎ、朝鮮半島・東アジアでの戦争を許さない！戦争ではなく対話を！と訴えていかねばならないときです。そもそも東アジアの軍事的緊張の根底にあるものは、1950年に開始された朝鮮戦争が終結しておらず、平和協定すら結ばれていないことにあります。そしてアメリカや日本は、平和協定を締結しようという朝鮮からの提案を一貫して拒否してきました。このような朝鮮敵視政策を転換させ、米朝の直接対話と六カ国協議の再開、平和協定の締結をもって東アジアの平和への転換点をつくりだしていかなばなりません。

## ● 韓国の闘いに連帯し、

### 全国の反戦反基地運動・労働運動の力で安倍政権打倒へ！

安倍政権は、今にも日本に朝鮮の弾道ミサイルが撃ち込まれるかのように「北朝鮮の脅威」を煽りたて、PAC-3やイージス・アショアの配備など日米同盟にもとづくミサイル防衛の強化を推進

してきました。そして、朝鮮のミサイル発射時の小中学校の休校措置や避難訓練を全国各地で実施しています。この動きは、やがてかつての「国防婦人会」のような戦争への民衆の動員体制の編成

にいきついてしまいます。しかし、朝鮮から日本まで飛来する弾道ミサイルは、約7分で到達します。日本政府の「Jアラート」による警報や避難訓練は実際には何の役にも立たないものです。安倍政権はそれを承知のうえで、「北朝鮮の脅威」を浸透させるためにこれらを実施してきました。こうして戦時体制がいつつくられようとしているのです。これに対して、日本の反戦反基地運動や労働運動の対応は立ち遅れ、大きな抗議の声をあげることもできないままに、排外主義の嵐に飲み込まれていこうとしています。まさに、安倍政権が改憲攻撃に向かうなかで、日本の大衆運動はその背骨をたたき折られようとしていると言っても過言ではありません。

このような反戦反基地運動や労働運動の現状を全力をあげて変革していかねばなりません。10月7日の京都集会をそのための大きな一歩としていかねばなりません。避難訓練などする必要がないように、朝鮮半島・東アジアでの戦争に反対し、東アジアの平和を実現すること以外に道はないのです。そのとき、全国各地の反戦反基地運動がはたすべき役割は決定的です。

東アジアの軍事的緊張を利用した安倍政権は、「国防・抑止力」を理由に国民世論形成をはかり、辺野古新基地建設を一層加速させようとしています。これに対して、沖縄・辺野古での埋め立て工事を阻止する闘いをはじめとして、全国各地で基地の

新設・強化に反対する闘いが組織されつづけています。オスプレイの相次ぐ墜落事故など基地被害に断固として抗議し、住民の安全・安心を守るために闘うだけではなく、「北朝鮮の脅威」を唱えた排外主義に対決し、米軍と自衛隊の出撃拠点となる全基地撤去を要求し、全国の反戦反基地運動の力を結集して安倍政権を打倒しようではありませんか。

国際的には、これまでから朝鮮への武力行使に反対してきた中国・ロシアだけではなく、多くのEU諸国なども武力行使に反対しています。韓国の文在寅大統領もまた、8月15日の光復節の演説で「アメリカは韓国の同意なしに武力行使はできない」「韓国は朝鮮半島・東アジアでの戦争に断固反対する」と表明しました。文在寅大統領は、他方でTHAADの残る四機の発射台の緊急配備を承認するなどアメリカの圧力によって動揺していますが、韓国の「ローソク革命」を実現した民衆は、光復節には米韓合同軍事演習中止・THAAD配備撤回を要求してソウルでの大集会を実現し、THAAD配備の地元である星州ではTHAAD配備を撤回させるための非暴力直接行動を闘いぬいています。10月7日の京都集会には、韓国のTHAAD配備に反対する闘いからその代表が参加します。このような韓国の闘いに国際連帯し、排外主義の嵐を打ち破る闘いへと向かおうではありませんか。

## ● 10・7 京都集会から

### 11・5 米軍基地いらんちゃフェスタ 2017 への総結集を！

11月5日(日)には、京丹後(峰山)において、「米軍基地建設を憂う宇川有志の会」などの呼びかけで「米軍基地いらんちゃフェスタ 2017」が開催されます。今年のいらんちゃフェスタでは、基調的スローガンは、昨年につづいて「東アジアに平和を！」、そして今年は更に、「米韓日合同軍事演習反対」も加わり、峰山での集会の前に参加者全体が基地ゲート前に結集し、抗議行動を組織するという画期的な取り組みも予定されています。

私たち米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会/近畿連絡会もまた、この集会の協賛団体として大きな責任を負っています。

京丹後では、東アジア情勢の緊迫化を反映して、Xバンドレーダー基地が攻撃対象になるのではな

いかという住民の不安が高まってきています。防衛省は、基地建設前に「米軍基地ができれば抑止力となって京丹後は安全になる」と宣伝しましたが、それがまったくのでたらめであったことをひしひしと住民は感じはじめています。そのような状況のもとで、防衛省は米軍基地に隣接する自衛隊基地の拡張・強化を推進し、また今秋には米軍基地の固定化につながる基地建設二期工事に着工しようとしています。米軍基地であれ自衛隊基地であれ、戦争のための軍事基地はいりません。米軍Xバンドレーダー基地撤去を掲げて、11月5日には京丹後に総結集しましょう。そして、京丹後の地から東アジアでの戦争に反対し、東アジアの平和を実現するために立ちあがりましょう。

## 米軍 X バンドレーダー基地反対・京都連絡会

連絡先：602-8347 京都市上京区四番町 121-5 大湾 宗則方 電話&FAX 075-467-4437

郵便振替口座：00950-9-303127 名義 京都連絡会

事務局連絡先：090-1590-9469 (山本純)